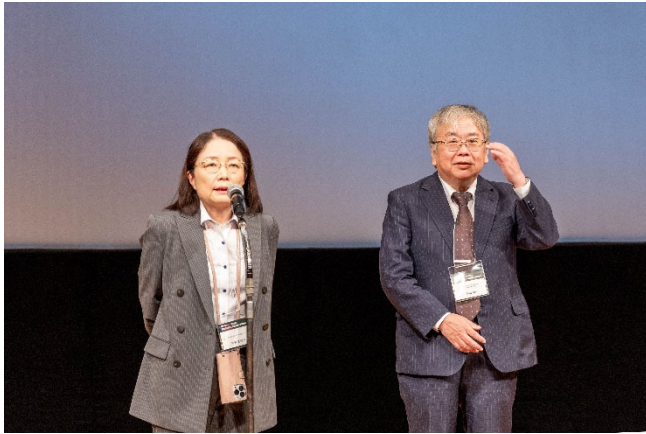


第 56 回日本動脈硬化学会総会・学術集会を終えて



大会長挨拶

第 56 回日本動脈硬化学会総会・学術集会は、「コードされた情報から動脈硬化を読み解く」をテーマとして、2024 年 7 月 6 日～7 日に神戸国際会議場で現地開催を行いました。現地で収録された特別講演や、シンポジウム、さらに教育講演等をオンデマンド配信として 8 月 31 日まで WEB 開催特設サイトに公開いたしました。

コロナウイルス感染症の開催制限を終え、今回はほぼ従来の開催形式をとることが出来、全部で 1399 人

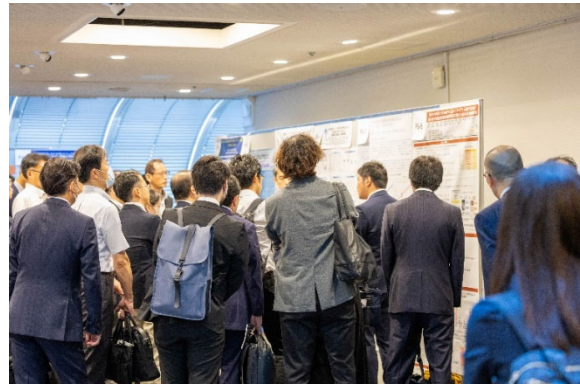
の方々にご参加いただくことが出来ました。当日の晴天にも恵まれ、盛会裏に終えることが出来ましたことを深く感謝いたします。

海外招聘講演としては、Imperial College London の Kausik Ray 教授より「From the Heart to the Population」、Monash University の Stephen Nicholls 教授より「New Lipid Therapies for Targeting Cardiometabolic Risk」、Amsterdam University の Albert Wiegman 教授より「How genetic variants in children with Familial Hypercholesterolemia not only guide detection, but also treatment」のご講演をいただきました。特別講演としては、Tufts University の Ernst Schaefer 教授より「Atherosclerotic Cardiovascular Disease (ASCVD) Prediction: The United States Pooling Project (ARIC, FRAMINGHAM, & MESA)」の講演をいただきました。The 9th Shimamoto Takio Memorial Lecture としては、Verve Therapeutics, Inc. の Sekar Kathiresan 先生に「From reading the genome for risk to rewriting it for cardiovascular health」のタイトルで WEB 講演、溝口泰司先生に「Potent, specific and durable liver editing of PCSK9 in preclinical studies of the CRISPER base editing medicine VERVE-101」のタイトルでご講演をいただきました。その後、ハイブリッドで Kathiresan 先生にも加わっていただき心血管疾患に対する in vivo genome editing の将来について議論し、大変盛り上がりました。

本学術集会では、日本動脈硬化学会の評議員の先生方から前もってシンポジウムのテーマをご提案いただき、プログラム委員会において何度も議論を行いながら、最終的に最新かつ重要なテーマ 14 が選択されました。各会場で、熱い議論が交わされ、充実した内容であ



第一会場



ポスター会場

ったと感じています。その他、2つの明日へのシンポジウム、4つの合同シンポジウム、ダイバーシティ委員会企画、第32回診断技術向上セミナー、循環器病予防療養指導士セミナー、研究倫理に関する特別講演、若手育成企画、メディカルスタッフセッションカンファレンス、KSoLa-JAS Joint Symposium、APSAVD-IAS-JAS Joint Symposium、また127題の一般演題をポスターおよび口頭にて発表いただきました。

大会の前日には、サテライトシンポジウムとして、Familial Hypercholesterolemia (FH) Summit Japan 2024を開催し、Albert Wiegman 教授、John Kastelein 教授にご講演いただき、Pediatric FH Screening、Advanced Medical Therapies in FH、FH Academy、HoFH について、熱い discussion を行いました。

各種受賞については、第41回大島賞は宮崎市郡医師会病院の浅田祐士郎博士、第25回日本動脈硬化学会賞は大阪医科薬科大学の斯波真理子博士、第19回五島雄一郎賞は佐賀大学の田中敦史博士、第32回若手研究者奨励賞は、東京慈恵会医科大学の平石千佳先生が奨励賞、第2回メディカルスタッフ賞は神戸学院大学の大平英夫先生、株式会社関西超音波サービスの道倉雅仁先生、第2回若手優秀演題賞は熊本大学の和田敏明先生、群馬医療福祉大学の時田佳治先生、大阪公立大学の永倉優先生、名古屋大学の才田恵美先生、金沢大学の山上幹先生、東京家政大学の前明日美先生が受賞されました。また、本学術集会において「バイエル循環器病研究助成第31回研究発表会」が行われ、4名の受賞者から「動脈硬化と炎症・免疫メカニズム」に関する最先端の研究について発表されました。また、会員懇親会を神戸どうぶつ王国で開催し、会員の交流を深めました。

本大会の開催にあたりまして、多大なご尽力を賜りました日本動脈硬化学会事務局の方々、関連委員会の皆様、協賛企業と支援団体の皆様、ご参加いただき大会を盛り上げてくださったすべての方々に厚く感謝いたします。

第56回日本動脈硬化学会総会・学術集會会長
平田健一
斯波真理子



懇親会



大会運営委員